

商連かながわ【新型コロナウイルス(COVID-19)による

影響に関するアンケート調査】結果報告

実施期間：令和4年1月17日～1月27日

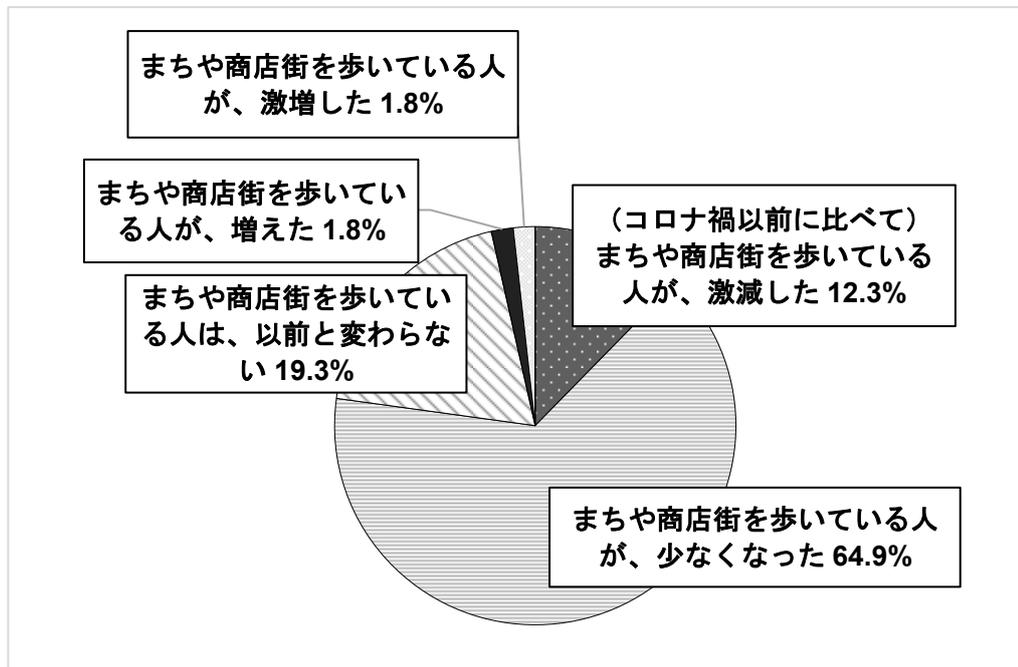
調査対象：商連かながわ会員の商店街で、メールアドレスを持つ252団体

総回答数：57団体

回答率：22.6%

1. あなたの商店街（商店会含む）のエリアについてお尋ねします。令和4年1月現在、新型コロナウイルスによる人出への影響として感じられることはありますか？ コロナ禍になる前の同じ時期と比較して、お答えください。

(コロナ禍以前に比べて)まちや商店街を歩いている人が、激減した	7	12.3%
まちや商店街を歩いている人が、少なくなった	37	64.9%
まちや商店街を歩いている人は、以前と変わらない	11	19.3%
まちや商店街を歩いている人が、増えた	1	1.8%
まちや商店街を歩いている人が、激増した	1	1.8%
不明(回答なし)	0	0.0%
合計	57	100.0%

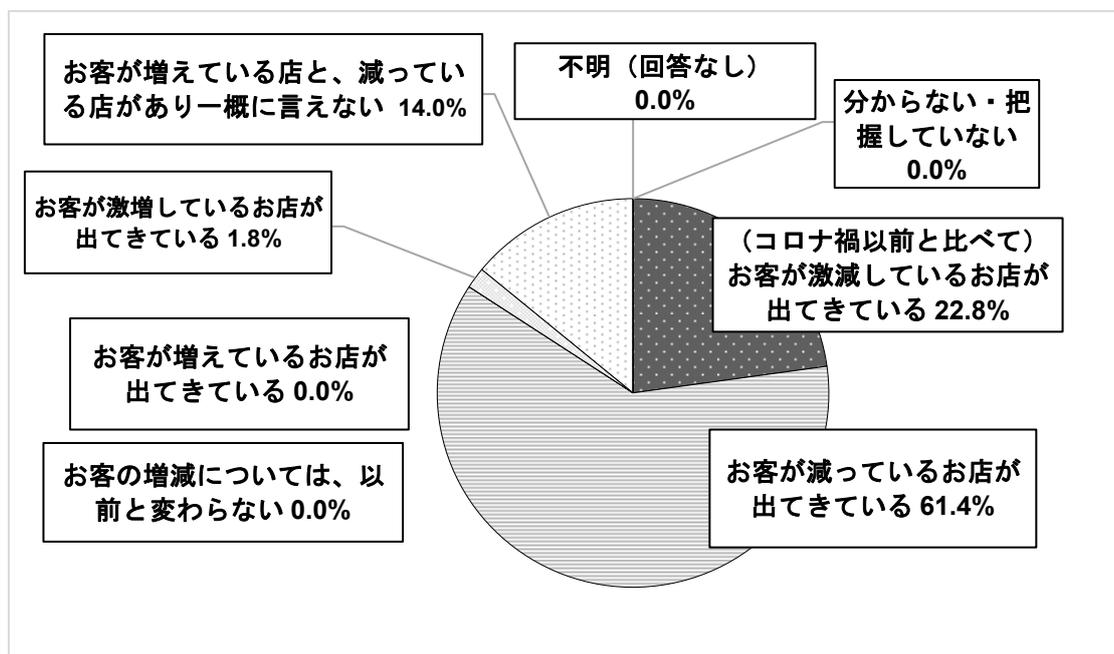


★まちや商店街を歩いている人が少なくなったという回答が64.9%、激減したとの回答が12.3%で、合わせて77.2%となりました。

★つまり、約7割の商店街で人出が減っている、または激減していることとなります。

2. 同様に、あなたの商店街（会）の会員の個店では、新型コロナウイルスの影響を受けた客数の増減は感じられますか？ コロナ禍になる前の同じ時期と比較して、お答えください。

(コロナ禍以前と比べて)お客が激減しているお店が出てきている	13	22.8%
お客が減っているお店が出てきている	35	61.4%
お客の増減については、以前と変わらない	0	0.0%
お客が増えているお店が出てきている	0	0.0%
お客が激増しているお店が出てきている	1	1.8%
お客が増えている店と、減っている店があり一概に言えない	8	14.0%
分からない・把握していない	0	0.0%
その他	0	0.0%
不明(回答なし)	0	0.0%
合計	57	100.0%



★お客が激減しているお店が出てきているとの回答が 22.8%。減っているお店が出てきている、という回答が 61.4%、合わせて 84.2%となった。

★つまり、約 8 割の商店街で、お客が減っている、または激減しているというお店が出てきている。

3. その他、コロナ禍において困っていること、問題になっていることなどがありましたらお書きください。

(1) 来街者の減少による弊害

- ・大型店(スーパー)及び銀行の撤退による商店街自体の集客力減少。
- ・商店街の通行量は 2 割減くらいですが、買い物客は 3 割以上の減少になっている。特に高齢者と周辺のお勤め帰りに買い物をされていた方々の減少が目立つ。飲食店は他の地域と同様に減少。
- ・飲食店に限らず、小売り、サービス業の低迷が著しい。
- ・コロナの影響で人出が減ったため、店を早く閉める所もあり夜は暗くさびしい感じになっている。

(2) 閉店、廃業の増加

- ・飲食店以外の物販店の閉店が目立っています。
- ・小型店だけでなく、大型・中型店舗の閉店が目立ちます。閉店の場合商店会会員が減ります。その上、会費の減免要求や脱退もありますので、商店街活性化条例のさらなる普及活動が必要と思います。従来の小売りを中心にする加入促進ではなく、広く事業者に加入してもらうことが必要だと思います。
- ・コロナの影響でコンビニの本部が撤退、なんとか別のコンビニ会社に入っただき、10月より営業を継続しています。

(3) コロナ禍による人手不足

- ・コロナ禍の影響で、アルバイト等の人員確保が課題となっている店舗が多くあるようです。
- ・売り上げ不振による各会員店の人員不足。

(4) イベントが開催できない、今後の計画が立てられない

- ・感染防止と集客イベントとの折り合いをつけるのが難しい。
- ・商店街は対面でのコミュニケーションを進めてきたので、非接触到戸惑っている。
- ・お客様、住民参加のイベントが開催できない。(盆踊り、もちつき大会など)
- ・イベントが出来ないので会員間の交流も減り、情報交換が出来なくなってしまった事。
- ・密になる為、お客様に並んで頂く様なイベントが行いにくい状況です

(5) 役員間のコミュニケーションがとれない

- ・会議が zoom になったことで役員の出席者が減ってコミュニケーションが取れない

(6) 商店街、個店への支援

- ・商店街を活性化するための支援策、例えば、プレミアム商品券事業への支援。商店街の従業員へのワクチン接種の早期支援など、迅速に対応していただくと助かります。
- ・飲食店以外は協力金も出ず、閉店する店舗が出てきている
- ・政府や行政は飲食店に対しては協力金などで援助しているが、その他の業種に対して冷たいと飲食店以外の業種の方々から聞くことがある

★まとめ

約 7 割の商店街で人出が減少あるいは激減していて、さらに約 8 割の商店街で、お客が減少あるいは激減しているお店が出てきているという状況です。

昨年 8 月の調査時とそれぞれ比較すると、人出については、「激減した」は 25.4%から 12.3%となり 13.1 ポイント減少し、「少なくなった」が 50.7%から 64.9%と 14.2 ポイント増加しており、全体としてはなお厳しいものの、やや改善が見られます。

客数については、「激減している」は 52.1%から 22.8%と 29.3 ポイント減少し、「減っている」が 38.0%から 61.4%と 23.4 ポイント増加しており、全体としてはなお厳しいものの、やや改善が見られます。